

学 会 報 告

学 会 開 催 報 告

第 68 回日本薬学会 東海支部総会・大会

実行委員長 佐藤雅彦（衛生薬学講座）

公益社団法人 日本薬学会 東海支部主催の学術集会である「第 68 回日本薬学会東海支部総会・大会」を、2022 年 7 月 9 日に愛知学院大学 楠元キャンパスにて開催した。本大会は、薬学とその関連研究に取り組む東海地区を中心とした研究者、教育者、薬剤師、学生による最新の研究成果の発表と活発な討論を通じて、学術活動の推進並びに相互の親睦を図り、地域の学術文化の発展に寄与することを目的としている。

新型コロナウイルス感染症の影響で多くの学術集会在 WEB 開催となっているが、本大会については、徹底した感染対策のもと、対面式で開催した。2 年ぶりの対面式での開催だったため、本大会を運営するにあたって不安であったが、特別講演、研究奨励賞受賞講演および一般講演を行い、参加者は 450 名を超え、大きなトラブルもなく、盛会のうちに無事終了することができた。

東海地区から愛知学院大学薬学部、金城学院大学薬学部、岐阜医療科学大学薬学部、岐阜薬科大学、静岡県立大学薬学部、鈴鹿医療科学大学薬学部、名古屋市立大学大学院薬学研究科および名古屋大学大学院創薬科学研究科を中心に、薬学に関わる研究者、薬剤師、教員、大学院生並びに学部学生が参加し、それぞれのセッションで活発な討論が行われ、充実したものとなった。特に、学生は緊張感をもって発表や質疑応答をしており、良い経験になったと思われる。

特別講演では、内山真伸先生（東京大学大学院薬学系研究科 教授）に「未踏化学空間をいかに探索するか？ —合成化学・元素化学・理論化学からのアプローチ—」の演題で、他領域の



研究者や学生にもわかりやすく講演していただき、研究の魅力を改めて実感するとともに、化学系分野の先駆的研究を知る良い機会となった。また、4 演題の支部学術奨励賞受賞講演を行うとともに、優れた口頭発表を行った大学院生と学部学生を対象に、学生優秀発表賞を授与した。

最後に、「第 68 回日本薬学会東海支部総会・大会」の運営にあたって、会場スタッフとして手伝っていただいた愛知学院大学薬学部の教員および学生に謝意を申し上げたい。また、本大会へ過分なる助成金を贈呈していただいた愛知学院大学薬学会に「第 68 回日本薬学会東海支部総会・大会」実行委員会一同、深甚なる謝意を表したい。



特別講演



受賞講演



会場



会場



一般講演



総合受付



演者受付



一般講演

【第 68 回日本薬学会東海支部総会・大会】

1. 実行委員会

実行委員長

佐藤雅彦（愛知学院大学薬学部教授）

庶務担当

神野伸一郎（愛知学院大学薬学部教授）

会計担当

河原昌美（愛知学院大学薬学部教授）

プログラム担当

加藤宏一（愛知学院大学薬学部教授）

2. 主催

公益社団法人日本薬学会 東海支部

3. 会期

2022 年 7 月 9 日（土）

4. 会場

愛知学院大学 楠元キャンパス

5. 講演

・特別講演：1 演題

未踏化学空間をいかに探索するか？
—合成化学・元素化学・理論化学からの
アプローチ—

内山真伸

（東京大学大学院薬学系研究科）

・支部学術奨励賞受賞講演：4 演題

1) 遷移金属触媒を駆使する 1,6-ジイン
誘導体から多彩な環構造へのアプロ
ーチ

安井 猛

（名古屋大学大学院創薬科学研究科）

2) 可視光と典型元素による分子変換反
応の開発

山口英士（岐阜薬科大学）

3) 播種性血管内凝固症候群における補

体・凝固系を制御する糖鎖タンパク
の機能的役割と創薬ターゲットとし
ての可能性

水野智博（藤田医科大学）

4) 異物応答性核内受容体の活性化と機
能発現の分子基盤に関する研究

志津怜太（静岡県立大学薬学部）

・一般講演：140 演題

化学系薬学：31 演題

物理系薬学：20 演題

生物系薬学：65 演題

医療系薬学：24 演題

6. 学生優秀発表賞：21 名

7. 参加者：453 名

一般：179 名

大学院生：64 名

学部学生：210 名

8. 学術集会助成

愛知学院大学薬学会

公益財団法人大幸財団

9. 広告掲載

「要旨集」広告掲載：21 社

「ホームページ」バナー掲載：2 社